



[図3] 色弱者の色の見え方の一例

## ■明度と彩度による違い

色は、同じ色名でも明度や彩度の差によって、 実際に見える色合いはずいぶん違ってきます。

色弱者の場合、異なった色であっても同じ明度 や同じ彩度の場合見分けることが難しい時があり ます。特に彩度の低い色同士の識別が難しくなり ます。

[図3] は様々な色の見え方をシミュレーションした例です。

彩度の低い「水色とピンク」や「黄色と黄緑」 おくとよいでしょう。 などの識別が難しいです。

## ■見分けづらい色と見分けやすい色の区分

[図3] の一般色覚者の例では、「赤と緑」の差の方が「緑と青緑」の差より見分けがつきやすいです。一方、色弱者のシミュレーションでは、「赤と緑」はほとんど同じ色に見えてしまい見分けをつけることが難しいですが、「緑と青緑」の方は2色を見分ける事が出来ます。

このように見分けやすい色の区分が、一般色覚者と色弱者では異なるということを考慮に入れておくとよいでしょう。

## 【明度とは】

色の明るさを表す度合いです。目に 感じる光の強弱を示す量です。

## 【彩度とは】

色のあざやかさの程度のことです。それぞれの色について、白・灰・黒色の混ざっている度合いで、これらが混ざらないほどその色はあざやかに(彩度が高く)なります。